

これまでのアドバイザーボード助言を受けて「できたこと・できなかったこと」

作成：令和5年2月1日 指定管理者

区分		助 言 等	対応状況（5段階評価）	
運営	ロードマップ全体	外で広がっていく空間というのは大変意味がある。イベントにも生かしていくと良い。	4.0	まち歩きイベント（協会）、屋外でのイベント（ころりん）実施。モデルコースを作成し HP 等へ掲載予定。（継続）
		管理運営方針（案）に戦略ロードマップの概要を載せる。	5.0	市で対応済み。（済）
	災害の教訓や防災を学ぶ交流拠点づくり	津波避難ビルではないことの周知	4.0	パンフレット、HP による周知のほか、アンケートに記載し、津波発生時の一時（いっとき）避難場所であることを周知。（継続）
		新規利用者の増加	4.0	観光客が入りやすい環境の整備、HP や市広報等による情報発信に伴う施設利用促進を継続。（継続）
		外部関係者との連携	3.0	津波伝承館とはイベント企画等について情報共有が図られている。津波メモリアルと連携強化が必要。（継続）
		気仙管内でのストーリー造成	4.0	椿の里・大船渡ガイドの会等と情報共有しながら造成。（継続）
	大船渡の魅力・文化を伝える観光拠点づくり	まちなか観光の実施	5.0	2回実施。今後も継続予定。モデルコースを作成し HP 等へ掲載予定。（継続）
		きっかけとなる場所づくり	4.0	1階事務所のカウンターに観光案内窓口を設置するとともに、協会各運営施設と連携し、情報共有を図り、きっかけとなる場所づくりを継続。（継続）
		観光案内所の認知度向上	4.0	のぼり、掲示物、窓口への職員配置、SNS 掲載等実施済み。アンケート調査で 78%が認知。情報発信等により、更に認知度向上を図る。（継続） 1階 BRT 側玄関へ観光案内所（Tourist information）マークを設置。タペストリーをぼーと南側ガラス面に令和4年度中に設置予定。
		国道等に「観光案内所」への案内表示を検討	4.0	敷地内（駐車場側の柱）。道路看板等については市と協議。（継続）
	幅広いネットワークを活用した用務連携体制の構築	防災、教育関係の団体との連携	4.0	ロードマップへ反映し、それに沿って進める。（継続）
		広域連携の推進	4.0	ロードマップへ反映し、それに沿って進める。（継続）
		大船渡という地域のリソースをうまく使う	4.0	ロードマップへ反映し、それに沿って進める。（継続）

	多世代の交流・憩い、活動、情報発信の場の創出	貸館稼働率 50%の妥当性について	3.0	前回のアドバイザリーボードにおける助言やアンケート調査結果を踏まえ貸館料の見直しを検討。(継続)
		HP の校正について (改修) ・ TOP 画像の修正 ・ 新着情報と重要なお知らせの区分け ・ 無料W i - F i の記載と上りと下りの速度の記載 ・ カレンダー欄と新着情報欄を入れ替え ・ スタッフからひと言コメントの追加	1.0	協会内で対応できるものについては、順次対応。 アローリンクスに依頼するものについては予算も含め次年度以降の対応とする。
	その他	防災学習ネットワークモニターツアーのアンケートはもう少し詳しいものがよい。	1.0	3 月実施予定のモニターツアーに反映予定。

※ 評価の見方

・ 5. 0 対応済み ・ 4. 0 対応中、継続事項 ・ 3. 0 対応中、未対応事項あり ・ 2. 0 — ・ 1. 0 未対応